

第4回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2024年2月21日（水） 9：30～10：21	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 ランチルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	中岡委員、渡邊委員、中村委員、岩永委員、嶋田委員、吉川委員、大塚委員、 ◎鯉坂委員、○鈴木委員 （◎：会長、○：副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、 指導課、教育センター、児童青少年課
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

学校教育部長挨拶 鶴川東地区の推進協議会委員の皆様におかれましては、2023年5月に本協議会を設置してから、今年度で全4回、協議会にご参加、ご出席いただき、忌憚のないご意見をいただいた。誠に感謝申し上げます。

この協議会では、歴史の継承など両校の統合に向けて広くご意見をいただいている。ご存じの方もいるかと思うが、鶴川第二小、三小、四小の統合については、スケジュールの大幅な変更をすることになった。今までご意見をいただいていたことから大きく変わる部分もある。詳細については、本日の協議会で説明するため、そちらを確認していただきたい。

今年度の協議会は本日で終了となるが、新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、協議会において保護者の代表の方や地域の代表の方、学校代表の方々と本事業の進捗状況を確認するとともに、必要な意見交換を行いたいと考えている。

今後も、引き続き皆様のご協力を重ねてお願い申し上げ、お礼とさせていただきます。

1 第3回推進協議会の振り返り

新たな学校推進課 （資料1 説明）

2 報告事項

新たな学校推進課 （資料2-1、2-1（別紙）説明）

新たな学校推進課 （資料2-2 説明）

委員 資料2-1（別紙）に書かれている③のスクールバスの導入の点が気になる。鶴二小の柿生のほうから通っている子どもが一番遠くなると思うが、果たして1年生があそこから鶴三小まで毎日往復歩けるのか。保護者としては、もし自分の子どもがあそこから鶴三小に通うとなった場合、通わせたくないと思うため、そこを一番配慮していただきたい。

委員 下の子どもが6年生のときに鶴二小の場所の新校舎という心積もりでいたが、鶴

三小で1年間だけ過ごして卒業となった。まだあまり想像がつかない。学校の組織が丸ごと移動になるため、6年生の多感な時期にどのような感じになるのかと思う。慣れた教室を離れ、新しい教室になり、日常が変わってしまうことによる心への影響が親として心配。

委員 柿生に近いほうから通学する子どものことが心配。資料にも出ているが、在校生は今の校舎で卒業。そのため、新1年生以降の子どもたちが影響を受けることになる。今後は、今の保育園、幼稚園、こども園在園児の方々が一番身近な問題ということになる。その辺の周知には時間がたっぷりかけるということになるのかもしれない。

賛成の方はあまり意見を言わないかと思う。しかし、通学について心配に思うご家庭からご意見があるかと思う。市のほうでの対応が大変になるかと思うが、よろしくお願ひしたい。

委員 3点ある。

1点目が、通学のこと。できるだけ公共交通機関を使うということだが、朝はいいが帰りは平和台循環の本数がとても少ない。1時間に1本しかない。「まちとも」への参加により、子どもたちが個別に帰ることが多い。1人で大丈夫なのかというのがとても心配。

2点目が鶴川第三小学校の校舎のこと。この先長く使うことになるため、それを見越してしっかり補修等をお願いしたい。仮校舎だから設備が悪くても我慢する、というのはなしにして、より大事に配慮いただければと思う。施設、設備面で不便な思いをさせないように、今から先を見越して鶴三小をきれいにしてほしい。

3点目が避難所のこと。能ヶ谷や、千都の杜、平和台は防災を頑張っている地域。鶴二小を避難所に想定して動いているため、そこが使えないとなったらどうなのかが心配。

委員 今の擁壁ではなく、その前にもうひとつ造るというイメージでいいか。赤い線と先ほど説明をいただいたが、これは今の擁壁の場所ではないということか。

施設課 6枚目のスライドの青色の線が今の擁壁。1度撤去して、新しく赤い擁壁を改修として造るような形になると思う。まだ設計をしていないため、詳細は今後詰めていく予定。

委員 擁壁を前に出すとなると、全体のスペースが小さくなり、グラウンドがより狭くなるのは大変だと思った。

小学校の統合や建替えが終わると、中学校が動き出す。それを含めてぜひ説明会をしてほしい。今回1回説明したからよしとするのではなく、随時、色々な形で情報を可能な限り提供していただきたい。

通学区域の変更によって町会が違う学校に行くことになる。緊急時、いかに子どもたちを守るかということを考えたときに、どういう情報網が構築されていて、どう動けばいいのか、というのを検討していただきたい。

委員 なぜこの1月に判明したのかというのは納得できない。去年からこの話は進んで

いたのに、擁壁のことが分からなかったのかというのは疑問に思う。子どもに影響することでもあるため、何でこのタイミングなのかと思った。

委員

新校舎をつくるにあたり、大きな車が通学路を何台も行き来するかと思う。警備をしながらだと思うが、特に新一年生を通わせる保護者は不安だと思う。幼稚園や保育園を卒園したばかりの子は、最初はお母さん方も一緒に手をつないで通学すると思うが、仕事をしていたりすると、そういうことをやってあげられない方々もいると思う。スクールバスや、車での送迎など、何か考えて、安全に通学できるようにしてほしい。平和台の上の方や柿生などにお住まいの方は不安かと思うため、納得いく形で進めてほしい。

委員

一番影響の大きい学年は、鶴二小に通って、鶴三小に通って、新校舎になる、三校に通うという世代が必ず出るかと思う。その子たちはまだ幼稚園にも入っていない、2歳前後の子どもたち。幼稚園に伝えても漏れてしまう世代だと思うため、例えば、子育てサロンやつるっこなど、情報がきちんと入るような形を確保してあげるべきだと思う。3か所移動はきついため、お受験を考えるとご家庭もあるかと思う。一番影響のある世代にどう伝えるかを考えていただきたい。

施設課

意見をいただいたことに対して、少し補足をさせていただきたい。

既存の擁壁については壊すという話をしたが、場合によっては既存の擁壁を残しながら新しい擁壁を設置することになる。擁壁の高さを高くしてしまうと土砂災害特別警戒区域の解除ができないという縛りもあるため、高さを抑えながら解除するとなると、どうしても手前側に擁壁を新たに造らなければいけない。そうなったときに校庭が狭くならないよう配置の工夫をし、影響がなるべく出ないような形にしようと考えている。

なぜこの時期になってしまったのかについては、昨年の夏過ぎから、実際にこの建物の設計を業者と詰めてきていた。建物の設計を進める中で、土砂災害特別警戒区域の対応を検討してきたが、技術的な部分で難しいということが分かり、1月になってしまった。

委員

小学校は小学校、中学校は中学校で、鶴三小と鶴二中で通学路が違う。通学路をいつ決めたかなど諸事情はあると思うが、教育委員会で中学校と相談や調整ができればいい。鶴二中には、ご近所の方や兄弟が通学していると思う。集団登校のように、中学生のお兄さん、お姉さん方の協力を可能であればお願いしたい。

新たな学校推進課

通学路について、小学校は通学路という形で、地域の方、学校、保護者の方と、必要な対策を打ったうえで設定をしている。しかし、中学校は原則通学路というものがいないため、それぞれの子どもが選んで通学をしているというのが町田市の現状。

学校位置が変わって通学路が長くなるため、なるべく近くて早い安全な道を通るのが一番いいと思うため、何か必要な対策を打って、中学生が使っているのと同じ道を小学校の通学路にできるのであれば、そういった検討もしていきたいと思う。鶴三小に一時的に通うということは想定していなかったため、特に遠いお子さんたちがどこの道なら通学できるのかというのは、検討していく。

委員 お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと一緒に通うということが、ある意味、一番の安心感
だと思う。初めての道を1年生がどうやって通学するのかという問題に対して、保
護者や上級生がつくなど、町田市のある考え方があるとは思いますが、ぜひそういうことも
検討していただけるとうれしい。

新たな学校推進課 そういったところも含めて来年度の検討したいと考えている。引き続きよろしく
お願いしたい。

3 閉会

新たな学校推進課 次回推進協議会は2024年5月15日（水）9時30分～
鶴川第三小学校を予定。

会長 （閉会の挨拶）